

株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る
郵便番号600-8652株式会社 大林組が発行する
「サステナビリティ・リンク・ボンド」への投資について

京都銀行（頭取 土井 伸宏）は、株式会社 大林組が発行するサステナビリティ・リンク・ボンドへの投資を実施しましたのでお知らせいたします。

サステナビリティ・リンク・ボンドは、発行体があらかじめ設定された「サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（SPTs）」の達成度合いに応じて条件が変化する債券です。

同社は、SPTsとしてScope 1および2の2030年度におけるCO₂ 排出量46.2%削減（2019年度比）、Scope 3の2030年度におけるCO₂ 排出量27.5%削減（2019年度比）を設定し、持続可能な環境・社会の実現を目指します。なお、本債券の発行にあたり、同社では、2022年3月に「サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワーク」を策定し、格付投資情報センター（R&I）から、国際資本市場協会（ICMA）が定義する「サステナビリティ・リンク・ボンド2020」および「ローン・マーケット・アソシエーション（LMA）が定義する「サステナビリティ・リンク・ローン原則2021」に適合する旨のセカンドオピニオンを取得しています。

当行では、今後もこのような事業活動を通じて環境・社会・経済の課題解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

<本債券の概要>

銘柄	株式会社 大林組 第25回無担保社債 (社債間限定同順位特約付) (サステナビリティ・リンク・ボンド)
年限	5年
発行額	200億円
発行日	2022年4月27日

以上

京都銀行グループでは、従来から「地域社会の繁栄に奉仕する」という経営理念に基づいた企業活動を行ってまいりました。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践であるSDGs達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。なお、関連するプレスリリースにその目標であるSDGsのアイコンを明示しております。

【SDGs】2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。17のゴールと169のターゲットで構成されている。

